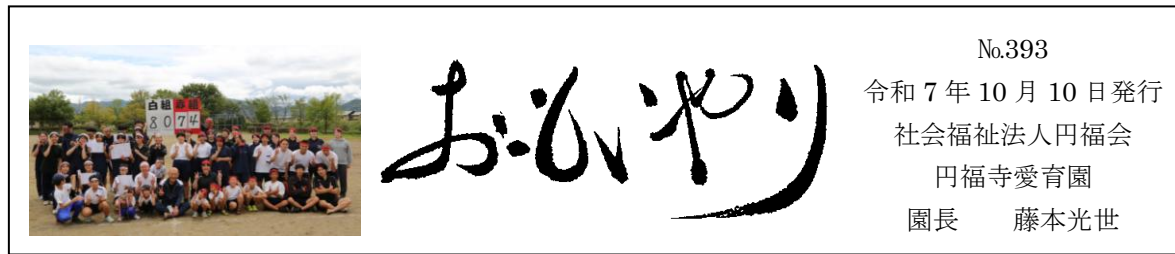


「咲かせて見せよう満開の花」今年も扇子演舞に感動しました。



素晴らしかった運動会

園長 藤本光世

9月21日（日）に、山崎公園グラウンドで第10回運動会を開催することができました。

今年は、グラウンドに草が生い茂っているので、草刈からやってほしいという連絡を受けて、子どもたち3人がビーパーできれいに草を刈ってくれたところから準備が始まりました。

実は、8月30日に大きな事件が起きてしまい、その対応と指導で運動会の準備どころではなくて、準備や練習を始めたのがなんとあと1週間となったころでした。T実行委員長と『今年は仕方がないなあ。準備期間がなかったけどここまでできた、と慰めあえればいいか』などと、不謹慎な話をしていたくらいでした。

総練習があり、当日を迎えました。

中高生は、朝早く5時ころ起きて、先にご飯を食べてグラウンドに行って準備です。21日の早朝に大雨が降って、グラウンドは柔らかくなっていましたが、水はけはよく運動会にちょうどよかったです。

小学生は6時起床で、帰ってきた子どもたちと全員でお参りをして出発しました。私が到着したところは、扇子演舞の練習でした。なんとなく元気がなくて、予想が的中してしまったかなあと心配になりました。お客さまが見えました。今年は、理事さん、区長さん、小学校中学校の校長先生教頭先生担任の先生など、なんと32人もお見えになってくださいました。

さあ、始まりです。これまで白組が4連勝していて、赤組の熱気と負けん気が伝わって来ます。集団競技は赤組が優勢です。頑張れーと応援します。

集団演技になりました。

まず、あおぞら児童職員による、組体操です。

中高生が一緒に組体操は3年目です。練習できたのかなあと、不安も混じって観ました。技が次第に高度になります。難しい技をみんなで一所懸命に演技しています。上手です。昨年がない技もあります。ピラミッドの声に気合が入っています。潰れるのも上手です。次第に感動が沸き起こってきました。私は、「人間起こし」が大好きです。起こされる児童は、これまで小学6年生の小さな児童でした。最後になんと今年卒園の、身長180cmはあるY君が起こされたではないですか。カッコよかったなあ。終わって大拍手でした。

（令和7年10月10日発行 月刊「円福」541号付録）



やらかしてしまう子が、腹の底から大きな声を出しました。その表情を見て、声を聴いて、思わず涙があふれてしまいました。組体操の時も涙が出そうになりましたが、扇子演舞は本当に涙があふれたのです。感動しました。



運動会の結果はどうだったでしょう。今年は僅差で白組が勝ちました。勝ち負けはどうでも、子どもも職員もみんな一所懸命に競技している姿が良かったです。

終わってみて、運動会は子どもたちの善い面を拓く場と確信しました。普段は、いろいろと職員が対応に苦勞している子どもも、運動会ではいい顔をして、善い面をたくさん出してくれるのです。人間には善い面と悪い面があります。善い面をたくさん出してほしい。そして自分は善い面ばかりだと、当たり前のように思えるようになってほしい。そうすると、善い人、善い仲間、善い友達ができてますます善くなっていくのです。

今年の運動会は改めて行事の意味を見直す機会になりました。

愛育園の子どもたち 万歳！万歳！万歳！

第 10 回愛育園運動会

主任指導員 T.M

9 月 21 日、今年で第 10 回目となる愛育園運動会を行いました。愛育園の運動会は毎年、赤組と白組が白熱した本気の戦いを繰り広げる所が見どころです。これまでの通算成績は赤組 3 勝、白組 6 勝で白組が大きく勝ち越している展開です。しかも、白組は 4 連勝中です。毎年、チーム分けを行うのですが、白組が 4 連勝もしてしまうと子ども達の頭に「赤組に入ると勝てないからな、、、」とこんな意識が働いているような気がして、どのような振り分けにするか頭を悩ませました。一応、子ども達に「何組がいい？」と聞いてまわってみました。去年白組だった子は「え〜別にどっちでもいいよ」という答えが大半でした。一方、去年赤組だった子はどうかというのと、「絶対、赤組がいい」「去年悔しかったから赤組」「あと一步で勝てそうだったから赤組」「去年のメンバーで白組に勝ちたい」と、聞いた全員が赤組を希望していました。

私は、とても感動しました。ちょっと水を指すような事を言うと、去年「惜しかった」というほど、そんなに僅差だったという事もなく白組は普通に優勝しました。にもかかわらず、今年も赤組になって赤組として勝ちたいと言う子ども達の心意気には、非常に胸を打たれました。

この出来事があって、私は今年の運動会のテーマを『リマッチ(再戦)』に設定し、去年とメンバーの入れ替え無しでチーム分けをしました。子ども達に告知をした時、赤組の子はとても喜んでいたので、「今年の運動会も盛り上がるぞ〜」とワクワクしていました。と、そんな矢先、、、大きな問題行動が起きてしまいました。複数人が絡む問題行動だったという事もあり、対応に追われて運動会の準備や練習どころではなくなってしまいました。ようやく練習開始の目処がたったのは運動会当日まで 10 日を切った頃でした。他の種目はともかく、組体操と扇子演舞はしっかり練習を重ねないと本番で披露できません。また扇子演舞は一糸乱れぬ動き、組体操は互いを支え合う動き、つまり心を揃えて心を通わせないと成立せず、それは、問題が起きていた中では非常に難しい事でした。練習初日、中高生の子ども達に言いました。「色々あって今雰囲気も良くないし、練習日数も少ない中だけど、ここから巻き返せたら、いつも以上の自信がつくよ！だから、がんばろう！」、ほとんど自分に向けて言っていました。そして、やはり練習開始当初の雰囲気は重く、職員と子どもも、そして子ども達同士もお互いを探り合うような



(令和 7 年 10 月 10 日発行 月刊「円福」541 号付録)

感じで全然よくありませんでした。こんな時の対処方法はひとつしかありません。とにかく時間を共にする事です。運動会までの日を練習の時もそうじゃない時もできる限り子ども達と過ごす時間を多くとりました。地道ですがそうじゃないとお互いに安心感が生まれにくいし、子どもの小さな変化に気づけません。今回も、途中から子ども達の何人かが迷いのない顔つきに切り替わった瞬間に遭遇できまして「よし、やり切ろう！」と声をかける事ができました。



練習期間は短かったのですが、前日練習の段階で組体操も扇子演舞も満足できるものになっていました。子ども達の力は本当にすごいなあと思っていたら、なんと本番では、もっともっとすごい出来を披露してくれました。扇子演舞では扇子のシンクロした動きに加えて迫力のある大声や、組体操では技はもちろん隊形移動もキビキビとした動きで素晴らしかったです。多くの来賓の方が見ている前で、本番で一番のパフォーマンスを持ってくる子ども達の強い気持ちを感じる事ができました。涙を流しながら見て下さった中学校の校長先生を始め、見に来てくださった皆さんが大変感動されていて、改めて園の子ども達には、人の心を動かす素晴らしい力が備わっている事を再確認しました。

もうひとつ、運動会についての良かった光景がありました。それは、今年も負けてしまった赤組の雰囲気がとても良かった事です。言葉では表現し辛いのですが、一切悔しがっておらず、まるで勝ったかのように、いえ勝ち負けすら意識にないような充実した顔でお互いを讃え合っていたのです。過去 10 回運動会をやってきてこんなに清々しい顔をしている赤組を見たのは初めてでした。赤組を背負って、負けられないプレッシャーをいつも感じている I 先生ですら今年は「楽しかったあ」しか出てこず、こちらがちょっと悔しい気持ちになるくらいでしたが、運動会で全力を出し切るとはこういう事かと、5 連覇で 7 勝目をあげた白組も、赤組の雰囲気や姿勢に多く学びました。

例年と違った困難な状況で行った運動会でしたが、素晴らしい行事にすることができて本当に嬉しく思います。運動会を通して改めて感じたのは、なにか過ちがあったとしても、それが全てではないし、いくらでもやり直しができるという事です。今回、それを子ども達が自分の力と気持ち、そして、ひた向きさと素直さによって、自力で証明してくれたことに大きな希望を感じまし

た。

10月26日は愛育園祭があります。子ども達が力を発揮し、日頃の成長を表現できる機会にしたいと思っていますので、皆さま、是非お越しください。

第10回愛育園大運動会

まごころホーム長 I・S

9月21日に第10回愛育園大運動会が開催されました。今年度の運動会は去年白組に勝てなかった悔しさが、今年こそは赤組を勝たせてあげたい！という強い気持ちを込めた運動会行事でした。私は赤組の主将をやらせてもらっていますが、とにかく赤組の負けが続いてしまっており、4年連続白組が優勝しています。子どもたちも負け続きの赤組にはなりたくないよな・・・と心配していました。例年力のバランスが同じになるようにチーム編成をT先生と考えていますが、去年赤組だった子どもたちから「今年こそはリベンジしたい！」という声が出ていることを聞き、今年こそ赤組が勝つため去年のチームのまま行うことになりました。子どもたちの想いが伝わりそれだけでもうれしい気持ちになりました。いざ競技が始まると、もちろん勝負にもこだわりますが、こだわりすぎず楽しくやろうと、と子どもたちに声をかけていました。負けてもみんなでお疲れ様と笑顔で出迎え、赤組が頑張っていれば競技に出ていないメンバーは「頑張れー！！」と精一杯声援を送っていました。チームの雰囲気がとっても良くて、あっという間に最終競技「全員リレー」がやってきました。パワー系に強い赤組は走る競技が苦手なところもあり、全員リレーは勝敗が決まる大事な競技ですが、ここ数年勝てたことがありません。勝つためには走り順がとても重要な競技になります。スタートの合図とともに第一走者の小1Hさんが走り出しました。みんなで「頑張れー！！」と声援を送りながらどんバトンが渡っていきます。子どもも職員も全力で走ります。赤組が先行で進んでおり、後ろから白組が追いかけてきましたが、大きな声援を受け一人一人の全力の出すことができ、勝つことができました！！勝った瞬間全員で「やったー！！」と喜び合い、とても感動しました。結果6点差で負けてしまいました。勝ちたかった気持ちもありますが、それ以上に子どもたちの一生懸命に頑張る姿、仲間を応援する姿、みんなで全力で挑めたこと、それが一番よかったと思っています。子どもたちもやり切った！！と表情を見るだけでも伝わってくるほどいい運動会だったと思います。赤組のみんなありがとう！！

他にも運動会を通して子どもたちの頑張る姿をたくさん見つけることができました。リズム体操を誰よりも早く覚えようと頑張っていたMさん、優秀賞をもらえてとても喜んでいました。マ



ラソンの中高生女子の部で入賞したい！と自ら練習を始めたHさん。2位なることができとても喜んでいました。頑張ったことで自分の自信や成長に繋がったことを実感できる運動会にもなり本当に良かったです。

さて10月は愛育園祭があります。子どもたちと力を合わせ来ていただいた方に楽しんでもらえるような行事になるよう頑張りたいと思います。

運動会

あおぞらホーム Y、S

9月21日愛育園運動会が開催されました。8月末にあおぞらホームでは問題行動があり、その対応もあつていつもより運動会の準備に取り掛かるのが遅くなってしまったことと、そういう雰囲気の中で気持ちを持って行くのが大変に感じていました。しかし、やるからには盛り上がる運動会にしたいと思い準備に取り掛かりました。道具の準備や制作物などの確認、また扇子演舞の自主練などあまり時間がなかったでしたがその分ギュッと集中して勢いよく準備が出来たと思っています。当日は不足物などもなく荷物運びも子ども達は良く手伝ってくれて予定通りの時間でスタート出来ました。

今年は絶対に赤が勝つ。と決めて運動会がスタートしました、各種目作戦通りに勝負しました。綱引きは圧勝で赤が勝ち大満足でした。



しかし、竹引きにおいては惨敗でした、毎年いい勝負をしているはずなのに何故か今年は惨敗でまさか竹引きでこんなに負けるとは、ととてもシ

ョックを受けました。他の種目も接戦で本当にいい勝負が続きました、そして運動会の中で一番盛り上がる全員リレーが始まりました、このリレーは赤組はいつも勝てずに悔しい思いをしています、しかし今年は赤組組長のI先生が作戦を立ててくれました、リレーが始まると最初から赤組がリードし、バトンを渡しても一度も追い抜かれることがなくずっと赤組リードのままアンカーまで行くことができました、そして最後のアンカーK君もリードしたままゴールすることができました。ずっと白組にかなわなかったリレーで勝つことができたこと、ずっとリードを保てていたことにみんな大興奮でした。本当に嬉しく、赤組の勝利を確信しました。閉会式になり結果発表で祈る気持ちでいましたが結果は今年も白組の勝ちとなり運動会が終わりました。全体の結果は残念でしたがリレーで勝てたことはみんなの自信につながり、又白組との点差もわずかだっ

たことにも感動しました。

色々な思いが凝縮した運動会であり、来年こそは赤組の勝利を確信した運動会でした。

第 10 回運動会

あおぞらホーム F・K

9月21日に、今年も運動会を行いました。

今年の運動会では前日の夜に雨が降ってしまい、もしかしたら延期になってしまうかなと私も子どもたちも心配していましたが、当日はギリギリ雨が止み、予定どおり運動会を開催することができました。そんな、スタートだった運動会ですが、子どもたちは天気には負けないくらい精一杯競技に挑み、一生懸命にリズムダンスや組体操、扇子演舞をやり切ることができ、とっても素敵な運動会になりました。

私は今年も、組体操と扇子演舞に参加させてもらいましたが、今年は例年よりも練習時間が短く、最初は大丈夫かなと心配でしたが、子どもたちのやる気が満ち溢れていたこともあり、ものすごく練習をがんばり例年に負けない素晴らしい発表になりました。あおぞらの子どもたちとやる組体操ですが、年々パワーアップしており、昨年までは人間起こしという大技で上に乗るのは小学生だったのですが、今年は高校3年生のYくんを上に乗せることに挑戦しました。Yくんはあおぞらで一番身長が大きく、そんな大きな子を上に乗せられるかなと心配でしたが、子どもたちの頑張りのもあり無事にその大技を成功させることが出来ました。このような年々パワーアップする組体操をみんなでやり遂げることで子どもたちが自分自身に自信をもてればいいと思います。



また、子どもたちが頑張ったのは競技や発表だけではなく、子どもたちは準備もとても頑張ってくれ、あおぞらの中高生がグラウンドの草取りを何時間も頑張ってくれたり、高2のKくんと中3のNくんは当日の先発隊として他の子がまだ寝ている時間に早く起きて会場の準備を手伝ってくれたり子どもたちの協力もあり、素晴らしい運動会になったと思います。

第 10 回運動会

調理主任 M.M

運動会・・・ドキドキとワクワクで出場する選手&応援側の精一杯の掛け声の中、全員が一つになる心温まる行事の一環です。

調理ではこの大事な運動会に子供達が喜んでくれるお弁当をどうしようか悩んでいると、まず子供達の喜ぶ顔を思い浮かべての事と思われる、お二人のホーム長からのご提案を頂きました。

ありきたりのお弁当ではなく、入れ物からこだわったお弁当提案を頂きました。

私達調理でもその思いに答えるべく、先ずはお弁当箱等の調達から始まり試作をしました。お二人に食して頂き、2～3の改善点を考慮し「これで行こう！」と準備を進めていきました。前日までにしておく事・当日の間に合わせる為の時間配分の逆算を考えながら、子供達の為に頑張って作ろうと思いました。

そして数日前から21日の天気予報を見ていると曇り予報に大丈夫と思っていましたが、徐々にずれ雨予報に……当日朝1時にもの凄い雨の音に目が覚め、予報を見ると朝方まで雨で10時位にパラパラ降るが午後からは晴れる予報でした。

どうしたものか？と眠れずにいましたが、なんと豪雨が2時半くらいには納まったので、何とか出来ることにシフトし91食分を7時半までには作り上げるには躊躇していただけないと、調理の先生方も心配をよそに皆さん頑張って下さいました。

なかなか時間配分通りに事は進まず時間が押し迫りハラハラドキドキでした。

それが顔に出ていたのか？後に園長先生から「先生必死な顔でやりましたね」と言われ、ハッ！としました。

朝ごはんを食べに来た子供達にも、ちゃんと挨拶も出来ていなかったんだらうと反省しました。

ともあれ無事お弁当は完成し、なんと一番の心配の雨も上がり出来る運びとなり、胸をなでおろした瞬間でした。

今年のお弁当は・カップうどん・いなり寿司・マヨ醤油唐揚げ・アスパラベーコン・ハムチーズのミルフィーユ・玉子焼き・枝豆ピック・ブロッコリー・ミニトマト



園内用51食・お客様用40食を作らせて頂きました。

精一杯頑張った子供達が笑顔で食べてくれたことが最高の喜びとなりました。

来賓の方々・学校の先生方等本当にたくさんの方々にお越し頂き、素晴らしい運動会となり感謝申し上げます。

又ホームの先生方の並々ならないご尽力により、心に残る素晴らしい運動会となりました。

ありがとうございました。

第 10 回運動会

庶務 T・K

「ありがとうございました！！」運動会が終わりグラウンドの片付けまで終わってから全員が一列に並び、グラウンドに向かって挨拶をした瞬間、「愛育園の運動会は子どもも職員も本気になって

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

いて素晴らしい！」と改めて感じました。きっと運動会当日の勝敗だけでなく、準備の段階から始まって、片付けまでみんなが本気になっているからだと思います。

職員だけでなく、あおぞらの中高生も一緒にグラウンドの草刈りに何度も行ったり、子どものいない平日の昼間、談話室で扇子演舞の練習をする職員の姿があったり。扇子の中骨を持ちやすく、さらに見た目もきれいになるようにカットして、高校生と一緒にスプレーで色付けをしたり、リズムダンスで使う旗を一つ一つ棒に縫い付けて、さらにシュシュを手作りしてかわいらしさを出したり。子どもたちとお花紙で作ったたくさんのお花を丁寧に貼り付けて入場門を形にしていく職員がいたり、競技で使う備品を確認して準備したり。ほかにも運動会前にもかかわらず、事務室で平常業務をしていた私の知らないところで念入りに準備が進められていたと思います。今年の障害物競走やパン食い競争で棒に吊るされていた中身の見えないパンの袋一つ一つには『？』マークが貼ってありました。「何もない袋より、この方が子どもたちワクワクするから」という I 先生のアイデアには、いつも子どもたちのことを考えてちょっとしたことにも気づく I 先生らしいなあ…と思いました。来賓、職員、子どもたちのお弁当のためにランチボックスを何軒ものお店を回って調達し、当日は朝早くからたくさんのお弁当を作ってくれた調理職員。子どもたちの喜ぶお弁当を！と両ホーム長とメニューを決めて試作もしてくれていました。おかげでおいしくいただくことができました。

私は数年前から本部席でアナウンスと放送を担当するようになりました。BGM 担当の I 先生が、プログラムの順番に沿って各種目の入場曲、競技中の曲を CD にまとめ、わかりやすく番号を書いてくれた私にとっての「虎の巻」を頼りに、ミスのないように流します。流すタイミング、止めるタイミングにも気を配ります。もっと競技中の実況なども臨機応変にできたら良いのですが、形式的なアナウンスしかできず、まだまだ実況するまでの余裕はありません…。あおぞら児童職員の組体操、中高生とホーム職員の扇子演舞の冒頭のアナウンスは、昨年続き今年も T 先生が考えてくれていました。T 先生の思いが見ている皆さんに伝わるようにという気持ちで特別なアナウンスになりました。

本部席から、各種目に一生懸命取り組む幼児さんから高校生までの子どもたちの姿を見てとても感動しました。「これだけのことをやるのは準備が大変だっただろう」とか扇子演舞では「ここだけでやっているのはもったいない。えびす講でやればいい」など来賓の方の声も聞こえてきました。準備や練習などみんなの努力が、見てくださった来賓の方々に伝わったようでうれしかったです。休みの日に朝早くから、たくさんの方が愛育園の運動会に来てくださって愛育園の姿を見ていただけたことにも感謝の日でした。

あおぞら児童感想

(高 2 K.K)

僕は今回の運動会で色んなことがわかりました。僕は運動会の準備でグラウンドに草刈り機で草を刈りに行きました。草はいっぱい生えていました。僕はすぐに終わると思いました。だけど、

(令和 7 年 10 月 10 日発行 月刊「円福」541 号付録)

3 人でやっても終わる気配がしませんでした。3 人でがんばって休憩とかもほとんどしませんでした。7 時間かけてやっと終わりました。

僕は、いつも先生が一人か二人でやっていた事を知っていたけど、こんなにも大変だと思いませんでした。それだけでなく道具の準備やグラウンドへ運ぶのを手伝ったりしたけど、こんなにも大変だと思いませんでした。

運動会は楽しく無事にできました。僕は今回も赤組でした。絶対に白組に負けたくありませんでした。赤組は 4 連敗してるので、今年は絶対勝つと心に決めていました。赤組は燃えていました。大接戦だったけど負けてしまいました。とても悔しいです。でも僕は赤組の勝ちだと思いました。

(小 6 A.Y)

9 月 2 1 日に山崎グラウンドで運動会がありました。去年出場してないので今年出れて良かったです。入場行進ではしっかりとできて良かったです。短距離走では 2 位で悔しかったです。台風の様子は勝って嬉しかったです。栄光の架橋は、パンをとるのが難しかったです。マラソンでは 1 0 位で良かったです。組体操では、2 人技のトーテムポールが少し難しかったです。3 人技はつづら折りが難しかったです。1 人技は V 字バランスが難しかったです。5 人技はおみこしと時計台が難しかったです。タワーも登るのと降りるのが難しかったです。組体操は全部の技を成功できて良かったです。竹引きでは 2 回とも負けてしまいましたが、綱引きは 2 回とも勝てとても嬉しかったです。結果、赤組は 7 4 点で、白組は 8 0 点で負けてとても悔しかったです。運動会はとても楽しい思い出になりました。

(高 1 M.Y)

今年の運動会は例年よりも強い思いで臨んでいました。なぜなら、去年は直前にケガをしてしまい、ほとんどの競技に出られず悔しい思いをしていたからです。だから今年は絶対にケガをせず、最後までやり抜くと決めていました。しかし、運動会の扇子演舞と組体操の練習が始まる 1 日前に、部活で右足のふくらはぎを痛めてしまいました。自転車で帰る事ができず、今年も出られないかもしれないとすごく不安になりました。ですが翌日にはだいぶ治り、練習に参加することができ、すごくホッとしました。しかし無理をしたら悪化する可能性があったため慎重に練習していきました。そして当日、万全のコンディションで臨む事ができました。自分が今回の目標としていたのが、マラソンの入賞と短距離走で 1 位を取ることでした。その 2 つの目標を達成することができて良かったし、嬉しかったです。扇子演舞と組体操も全力で取り組めたし、成功できて良かったです。最終的には白組が優勝できて良かったです。でもそれ以上に、万全の状態ですべての競技に全力で取り組めたという達成感と、心から運動会を楽しめたという嬉しさがありました。来年も頑張ります。

まごころ児童感想

「運動会」

小1 A・Sさん

きょうはうんどうかいにいきました。さいしょにかけっこをやりました。たのしかったです。つぎにばんくいきょうそうをやりました。たのしかったです。つぎにリズムをやりました。たのしかったです。つぎにマラソンをやりました。はしってつかれてもたのしかったです。つぎに「たいふうのめ」をやりました。たのしかったです。つぎにつなひきをやりました。あかぐみに2かいもまけて、くやしかったです。いちばんたのしかったのはばんくいきょうそうです。さいごにしろぐみが80てん、あかぐみが74てんだったのでしろぐみがかちました。うれしかったです。「運動会」

小5 M・Kさん

運動会をやりました。さいしょは、きんちょうしました。教頭先生とM先生（担任）と、S先生（支援級担任）がきてくれました。さいしょはかけっこをやりました。Rちゃんと走りました。次にパンくいきょうそう（障害物競走）をしました。ハードルが高かったけどとべました。ネットをくぐる前に耳にひっかかりました。とてもいたかったけど、そのままへいきん台に行きました。とても細かったです。でもがんばりました。パンをくわえました。たのしかったです。マラソンをやりました。とてもたいへんでした。さいごは1年生にぬかされました。かなしかったです。でもさいごまでできて楽しかったです。あおぞらホームの組体操でかんとどうしてなきました。とてもきれいでした。見ていて楽しかったです。竹引きはみんなさいごまでがんばりました。オールスターリレーをやりました。楽しかったけど、赤組にまけてかなしかったです。最後に閉会式をやりました。わたしは「ゆうしゅうしょう（優秀賞）」をもらえてうれしかったです。最後にみんなで「ばんざーい」をしました。たのしかったです。担任の先生と教頭先生たちがさいごまで見てくれてうれしかったです。白組が「5れんば（連覇）」でうれしかったです。今年はけがなく、運動会ができて楽しかったです。私がいちばん楽しかったのは竹引きです。来年はもっともりあげたいです。

「第10回愛育園運動会」

高3 R・Sさん

9月21日に運動会がありました。前日は雨が降っていてできるか心配でしたが、無事できたので良かったです。今年も赤組、白組が接戦となりました。最後の運動会だったので結果がどうであらうと全力で頑張り、楽しみました。特に私が頑張った競技は、「応援合戦」です。今年も扇子演舞をやりました。また、今回も先頭でやらせてもらった部分があったので頑張りました。お腹から声を出すことを意識して全力でやりました。良い声が出せたと思います。また、「紅白リレー」も頑張りました。今年も白組が勝てるように一生懸命走りました。悔いなく走れたので良かったです。最後の運動会、いい結果を残せたので本当に良かったし、とっても楽しかったです。良い思い出になりました。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム S・K

10月に入り、朝晩は冷え込むようになりました。まだ残暑が続いていますが、秋の気配を感じることも多いです。9月は、子ども、職員にとって大変なことが多く続いた月でもありました。しかし、子どもたちは一人一人が乗り越え、大きく成長したことと思います。また、天候が危ぶまれた中でしたが、盛大に運動会が開催されました。

まごころホームだより

まごころ K・S

9月21日に行われた第10回愛育園運動会は、今年も無事終わることができました。まごころホームの子どもたちは、この日のために扇子演舞やリズムダンスなどの練習を一生懸命取り組んできました。毎日の練習を通して動きや振りを覚え、揃える難しさもありましたが仲間と励まし合いながら取り組む子どもたちの姿が印象に残っています。本番は練習以上に成功し、最後までやり遂げることができました。子どもたち自身の達成感や自信に繋がったと思います。

調理室だより

調理員 M・C

第10回を数える愛育園の運動会が盛大に行われました。子供達は皆、限られた時間の中で一生懸命に練習し、それぞれの種目の中で全力を尽くしてくれました。そんな姿は、見ている私たちにもしっかりと伝わってきて、大きな声援を送ったところ

です。

赤組も白組も、とても輝いていました。

そんな子供達が猛暑を乗り越え、早いもので迎えることとなった今年の後半に向け、健康を維持しながら元気に日々を過ごせるよう、健康な生活に欠かせない食事について、おいしくて栄養満点の料理を引き続き提供してゆきたいと改めて思いました。

9月 1日(月) Y君 誕生日メニュー

・つけ麺・カリカリポテト・チョギレサラダ・ジュース

9月21日(日) 愛育園 運動会

・(お弁当)うどん いなり寿司 唐揚げ アスパラベーコン巻き 卵焼き ハム&チーズのミルフィーユ ブロッコリー ミニトマト

9月22日(月) お彼岸 おはぎ作り

9月25日(木) お彼岸 お団子作り